

Let's Try!

2

指導編

# Let's Try!

2



学校	年	組
名前		

文部科学省

文部科学省

**Unit 1** ..... 4

## Hello, world!

世界のいろいろなことばであいさつをしよう

Hello. / Good [morning / afternoon / night]. / I like (strawberries). / Goodbye.  
/ See you.

**Unit 2** ..... 8

## Let's play cards.

好きな遊びをつたえよう

How's the weather? / It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. / Let's (play cards).  
/ Yes, let's. / Sorry. / Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn  
around.

**Unit 3** ..... 12

## I like Mondays.

好きな曜日は何かな?

What day is it? / It's (Monday). / Do you like (Mondays)? / Yes, I do. / No, I don't.  
/ I like (Mondays).

**Unit 4** ..... 16

## What time is it?

今、何時?

What time is it? / It's (8:30). / It's ("Homework Time"). / How about you?

**Unit 5** ..... 20

## Do you have a pen?

おすすめの文房具セットをつくろう

Do you have (a pen)? / Yes, I do. / No, I don't. / I [have / don't have] (a pen). /  
This is for you.

**Unit 6** ..... 24

## Alphabet

アルファベットで文字遊びをしよう

Look. / What's this? / Hint, please. / How many letters? / I have (six). / Do  
you have (a "b")? / Yes, I do. / No, I don't. / That's right. / Sorry. / Try again.

**Unit 7** ..... 28

## What do you want?

ほしいものは何かな?

What do you want? / I want (potatoes), please. / How many? / (Two), please.  
/ Here you are. / Thank you.

**Unit 8** ..... 32

## This is my favorite place.

お気に入りの場所をしょうかいしよう

Go straight. / Turn [right / left]. / Stop. / This is (the music room). / This is  
my favorite place. / Why? / I like (music).

**Unit 9** ..... 36

## This is my day.

ぼく・わたしの一日

I wake up (at 6:00). / I have breakfast (at 7:00). / I go to school. / I go home.

# 本書の使い方

学習指導要領で示された、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿った各単元の目標と、関連する主な言語材料を記しています。下線は、新出の表現を示しています。

**3 I like Mondays.**  
好きな曜日は何かな?

単元目標 (3時間)

- 世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の高い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
- 相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。

語彙材料

○What day is it? It's (Monday). Do you like (Mondays)? Yes, I do. / No, I don't. I like (Mondays).

○day, 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday). 果物・野菜 (mushroom, watermelon). 食べ物 (soup, pie, sandwich), fresh [既出] 挨拶, What (sport) do you like? How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. It is, 飲食物, スポーツ, 遊び

**このUnitで学習すること**

一週間の予定や好きな曜日を伝え合う。

児童は外国語活動の授業にずいぶん慣れ、指導者や友達と英語を使ってコミュニケーションを図ることを通して、言葉でやり取りする楽しさを感じてきた頃と思われる。そのような時期に、3年生から慣れ親しんでいる表現を使って、コミュニケーションを図る体験をする。この単元では、児童が好きな曜日であるが、児童が曜日を考える際には、学校の時間割や、テレビ番組、おけいこ事などを思い浮かべるとされる。そこで、本単元は、自分の一週間の生活と結び付けて曜日を扱うことにした。生活を結び付けてから児童は、「○曜日は好き、でも○曜日は嫌い。だって、～だから」という思いを膨らませるであろう。

**Unit 3 I like Mondays.**

Let's Watch and Think 1

① Hi, I'm Ruth. I'm in the Philippines. I help my mother after school on Mondays.  
② Hi, I'm Mustafa. I'm in Egypt. I get up at five on Tuesdays.  
③ Hi, I'm Emilia. I'm in Finland. I study with a computer on Sundays.  
④ Hi, I'm Manish. I'm in India. I play Kabaddi on Fridays.  
⑤ Hi, I'm Jessica. I'm in Brazil. I play soccer on Saturdays.

Let's Chant : What day is it?

Monday mushroom, Tuesday soup, Wednesday watermelon, Thursday circle pie, Friday fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad.

What day is it? It's Monday.

**Let's Watch and Think 1**

世界の子供たちの平日の放課後や週末の過ごし方を知る。

① デジタル教材では、フィリピン、エジプト、フィンランド、インド、ブラジルの子供たちが、自分の好きな曜日とそのようなことをするかを紹介している。

② 児童には、これらの映像を視聴し、世界のさまざまな地域の同年代の子供がどのような生活をしているかを知る機会となる。映像の中の子供たちの様子から、自分たちとの共通点や相違点など、気付いたことを発表させる。しかし、単に共通点や相違点の気づきで終わらず、それぞれ言語も習熟も違う、同じ地球に住む仲間であり、それぞれが与えられた生命を精いっぱい生きる尊厳を感じてほしい。

③ 映像で紹介される子供たちの様子は、一例であって、それがその国の全てを表しているわけではないことに留意する。

**Let's Chant : What day is it?**

① 7曜日全てではないが、曜日の最初の音と、そのあとの食べ物や活動の音が一致するように作られたチャンツである。このチャンツを繰り返し聞いたり、言ったりして英語の音楽を楽しませたい。

② 繰り返しが多く、長いチャンツとなっている。児童の実態に合わせて、チャンツの最初の3行のみを扱うなどとする。

**Activity (p.11より)**

教室内を歩いて回りペアになって、学級でしたい遊びについて紹介し合い、表に記入する。

① 単に自分の好きな遊びを伝え合うのではなく、学級のみんなで遊ぶという目的を十分に意識して、取り組ませたい。

各単元の特徴やねらい、指導上の留意点を解説しています。単元に入る前に読むことで、その学習内容の全体像を理解することができます。

各活動のねらいや内容、指導上の留意点について記載しています。授業の準備などに活用ください。

単元には、Let's Listen / Watch and Think / Play / Chant / Sing, Activityが設定されています。それらは主に、児童に言語や文化についての気付きを促したり、設定された言語材料の意味を推測したり慣れ親しんだりすることをねらいとしています。Activityは、既習表現などを使って、児童が友達とコミュニケーションを図ることをねらいとしています。なお、ここで扱われているワークシートは、全て文部科学省ホームページに掲載されています。

Let's Try! ②の誌面です。児童が実際に書き込んだり、これをもとに活動を行ったりします。

**Let's Listen**

登場人物の子供の一週間の予定を聞き、そのあとの曜日クイズに答える。

① 登場人物が一週間の予定を話しているのを見て、質問に答える活動である。8文という分量を聞き取ることは、この段階の児童には困難だと思われるが、遠隔にある一週間の予定のイラストが大きなヒントになる。児童の実態に応じて、音声も聞かせる前に、誌面の一週間の予定を確認してもよい。

② この単元では、動作を表す語句がたくさん扱われている。そこで、この活動の前には、教師用動作カードを使って、キープ・ゲームやミッシング・ゲーム、児童用動作カードを使って、ビンゴ・ゲームやメモリー・ゲームをして、十分に動作を表す語句に慣れ親しませようとする。

③ ここで、十分動作の語句の言い方に慣れ親しませておくことが、次のLet's Playにつながる。

**Let's Play**

自分の一週間の予定について、曜日クイズを出し合う。

① まず、指導者がクイズを作り、前活動Let's Listenに倣って、児童にクイズを出す。その中で、曜日の尋ね方や動作を表す語句の言い方に十分に慣れさせるようにする。

② 次に、実際に児童が一週間の予定を表に記入させ、児童がそれをもとにクイズを出して、児童に答えさせる。また、一週間の予定を見ることがクイズに答える際の大きなヒントになることから、児童が慣れてきたら、一週間の予定を見せず、聞かせるだけにし、グループで協力してクイズに答えるようにさせるのが工夫である。

③ このように十分クイズの出し方に慣れ親しんでから、代表児童とほかの児童で行う、そのあとペアで行うなど細かなステップを踏み、児童に「できた」という達成感をもたせるようにすることが大切である。

**Let's Watch and Think 2**

① ロバート: Takeru, let's play tennis after school.  
たける: Sounds good, but I don't have a racket today.  
ロバート: No problem. I have two rackets.  
たける: Great!

② エミリー: Do you like Sundays, Sayo?  
さよ: No, I don't. I clean my room, and do homework on Sundays. I'm very busy, so I don't like Sundays. Do you like Sundays, Emily?  
エミリー: Oh, yes, I like Sundays. I watch my favorite TV program on Sundays.

③ ウィリアム: Hi, Sayo. Today is Wednesday. We have a soccer game today. Let's go to the playground and let's play soccer!  
さよ: Sure. I like soccer and I like Wednesdays very much.  
ウィリアム: Me, too.

**Let's Watch and Think 2**

デジタル教材で、登場人物が曜日や遊びについてやり取りする様子を視聴し、分かったことを□に記入する。

① 二人のまとまりのある会話を聞いて、おおよそのことを理解することがないである。しかし、まだこの段階では難しく感じる児童もいることから、視聴する前に、遠隔イラストを見て、どのような会話をしているかを想像させてから取り組むとよい。

② 単なる聞き取りとならないよう、活動後は、会話の内容に関連した、Do you like Sundays? Do you like soccer? What TV program do you like?などの質問をし、Activityにつながるようにする。

**Activity**

教室を歩いてペアになり、自分と同じ曜日が好きな人を見つけよう。

① 教室内を歩いて回り、ペアになって好きな曜日を尋ね合う。また、その理由を伝える。その際には、児童の実態に応じて、分かる語句でできるだけ英語で伝えるよう求めてもよいし、日本語で伝えてもよいとする。ことも考えられる。

② 理由を伝えることで、同じ曜日が好きでもさまざまな理由があることが分り、互いに新しい一面を知る機会となり、相互理解が深まると思われる。

**指導者の表紙例**

What day is it today?  
(今日は何曜日ですか?)  
What day do you like?  
(何曜日が好きですか?)  
(何曜日が好きですか?)  
Do you remember?  
(覚えていますか?)

主にActivityの順に従って表紙例を紹介しています。

付属のデジタル教材に収録されている音声のスキリプトを記しています。主として、Let's Listen / Watch and Think / Chant / Singです。

各単元で指導者が使える表現例です。活動に合わせて使ってみましょう。記載されているQRコードを読み込むことで、音声を聞くこともできます。

**注意 点**

該当ページに入りきらなかった解説を、やむを得ず別のページに掲載する場合には、授業中に使用する際の視認性を高めるため、通常の赤い見出しに対して、黒い見出しで掲載しています。

# Hello, world!

世界のいろいろなことばであいさつをしよう

## 単元目標 (2時間)

- ・さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。
- ・友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。
- ・相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。

## 言語材料

○Hello. Good [morning / afternoon / night]. I like (strawberries). Goodbye. See you.

○morning, afternoon, night, world  
 [既出] 挨拶・自己紹介, Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. 状態・気持ち, 色, 数 (1~30), 飲食物, 果物・野菜, スポーツ, 動物

## このUnitで学習すること

世界のさまざまな挨拶の仕方を知り、挨拶をする。

外国語学習2年目となる最初の単元は、英語だけではなく、世界のさまざまな言語に出会い、多角的なものを見方ができるような児童になってほしいという願いを込めて作成している。さまざまな言語に触れ、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむとともに、相手に伝わるように工夫しながら、相手と挨拶をし、自分の好みなどを伝え合おうとすることが、本単元の目標である。

また、指導者や友達と英語でのやり取りを通して、表情やジェスチャーなどといった言語以外の要素(ノンバーバル・コミュニケーション)もコミュニケーションを図るうえで大切であることに気付いたり、国によってジェスチャーが違うことを学んだりする。

**Unit 1 Hello, world!**

Здравствуйте. (2)

안녕하세요. (3)

你好. (4)

السلام عليكم. (3)

नमस्ते। (4)

Jambo. (3)

Selamat siang. (4)

Let's Watch and Think 1  
 えいぞうを見て、世界のいろいろな国のあいさつについて、気づいたことを□に書こう。

こんにちは. (1)

Hello. (1)

Boa tarde. (1)

Hello. (1)

Let's Listen 1  
 どの国のあいさつかを聞いて、番号を□に書こう。

## スクリプト

### Let's Watch and Think 1

- (アメリカ)  
 クリス: Hello. I'm Chris.  
 メアリー: Hello, I'm Mary.
- (ロシア)  
 ミハイル: Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) I'm Mikhail.  
 アンナ: Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) I'm Anna.
- (サウジアラビア)  
 アリ: السلام عليكم. (アッサラームアレイコム) I'm Ali.  
 シンバ: صباح الخير. (ワレイコムッサラーム) I'm Simba.
- (インドネシア)  
 エバ: Selamat siang. (スラマッシアン) I'm Eva.  
 デビ: Selamat siang. (スラマッシアン) I'm Dewi.

### Let's Listen 1

- No.1  
 クリス: Hello. I'm Chris.  
 メアリー: Hello, I'm Mary.
- No.2  
 ミハイル: Здравствуйте. I'm Mikhail.  
 アンナ: Здравствуйте. I'm Anna.
- No.3  
 アリ: السلام عليكم. I'm Ali.  
 シンバ: صباح الخير. I'm Simba.
- No.4  
 エバ: Selamat siang. I'm Eva.  
 デビ: Selamat siang. I'm Dewi.



## Let's Watch and Think 1

デジタル教材を視聴し、さまざまな挨拶の仕方を知り、気付いたことを□に記入する。

- ★ 3年生でも世界のさまざまな挨拶に出会っているが、音声のみであった。4年生の本活動では、音声だけでなくジェスチャーや文字も含めて世界の挨拶に出会い、世界にはさまざまな文字や挨拶の仕方があることから、多様性に気付かせる。
- ★ また、映像では、ロシアやインドネシアの子供たちが自分の言語で挨拶をするとともに、英語で自分の名前を紹介している。それぞれに、さまざまな願いを込めて付けられた名前があり、大切な存在であることも感じさせたい。
- ★ 誌面には、各言語の文字で示された挨拶の言葉が示されている。児童が日常生活でよく目にするアルファベットの文字以外にも、さまざまな文字、書き表し方があることにも気付かせるようにする。
- ★ 児童の中には、テレビなどを通じて、世界のいくつかの国々の名前や出来事などを知っている者も多いと思われる。しかしながら、社会科では、まだ外国の国々が学習題材とはなっていないことから、ここでは、挨拶の音声や、文字、ジェスチャーにおいて、日本語と比較して特色がある言語を扱うようにしている。

## Let's Listen 1

音声を聞いて、どの国の挨拶かを考え、□に番号を記入する。

- ★ 前活動では映像資料とともにさまざまな挨拶の言い方に会ったが、本活動では、映像は見せず、再度挨拶の言い方を聞かせる。そうすることにより、さまざまな言語の音声に集中させたい。
- ★ また、本活動のあと、ここで聞き取ったさまざまな言語の挨拶を使ってペアで挨拶をさせてみるのもよい。実際に児童が自分で音声を発してみることで、さまざまな言語があることへの気付きがより大きくなると思われる。

## Let's Play

友達と挨拶をし、友達の名前と好きなものを表に記入する。

- ★ 教室を歩いて回り、友達とペアになり挨拶をし、好きなものを伝え合う。すでにこれらの表現等は、3年生から繰り返し使っており、十分に慣れ親しんでいると思われる。そのため、本活動の前に指導者が数名の児童に好きなものを尋ねるなどして、I like ~.の表現を思い出させるとよい。
- ★ 新しい学級で新しい友達と出会う児童もいれば、昨年度から同じメンバーで新学年を迎えた児童もいる中、改めて英語を使って自己紹介を兼ねて挨拶をする。扱う語彙や表現はすでに慣れ親しんでいるものであるため、児童に負担はほとんどないと思われる。そこで、ここでは、相手と好きなものを伝え合う際に十分に相手意識をもって、反応させるようにしたい。例えば、挨拶をして、I like cats.と好きなものを紹介したら、Do you like cats?と問うたり、好きなものを聞いたら、I see. Really? Me, too. Cats. (繰り返す)などと返したりすることで、相手意識をもたせたい。このようなことを繰り返す中で児童は、言葉でコミュニケーションを図る大切さ、楽しさを実感するであろう。

## Let's Watch and Think 2

デジタル教材を視聴し、午前、午後、就寝前の英語での挨拶の仕方を知る。

- ★ 日本語でも午前、午後、就寝前など、時や場面に応じた挨拶があり、英語においても同様であること、一方で英語には時間帯を超えて共通に使えるhello, hiがあることに、改めて気付かせる機会としたい。
- ★ 本活動では、指導者が場面にあった挨拶を解説して児童に分からせるのではなく、まずデジタル教材で、本教材の登場人物が午前、午後、就寝前の場面でその場面に合った挨拶をしている様子を視聴し、児童にどのような場面でどのような挨拶をしているのかに気付かせ、そのような場面を再現

Let's Play

あいさつをして、友だちの好きなものをたずねよう。

	名前	好きなもの
		

Let's Watch and Think

えいぞうを見て、わかったことを□に書こう。



4

## スクリプト

### Let's Watch and Think 2

- No.1  
 やまと：Good morning, Graham sensei.  
 グラハム：Good morning, Yamato.  
 How are you today?  
 やまと：I'm fine, thank you.
- No.2  
 ひなた：Good afternoon, Graham sensei.  
 グラハム：Good afternoon, Hinata.  
 ひなた：This is for you. Here you are.  
 グラハム：Me? Wow, thank you very much, Hinata. I'm happy.  
 ひなた：You're welcome.
- No.3  
 エミリー：Good night, Mom and Dad.  
 母：Good night, Emily.  
 父：Have a nice dream.

Let's Listen

登場人物について、わかったことを□に書こう。

1

- ・登場人物の名前はたける。
- ・イチゴが好き。
- ・レモンは好きではない。

2

- ・登場人物の名前はさよ。
- ・バスケットボールが好き。
- ・水泳は好きではない。

3

- ・登場人物の名前はエミリー。
- ・赤が好き。
- ・緑は好きではない。

Activity

あいさつをして、友だちの好きなことやきれいなことをたずねたり答えたりしよう。

名前	好きなこと	きれいなこと

5

### Let's Listen 2

- ① Hi, I'm Takeru. I like strawberries. Ummm, I don't like lemons. See you.
- ② Good morning. I'm Sayo. I like basketball. Ummm, I don't like swimming. Goodbye.
- ③ Good afternoon. I'm Emily. I like red. I don't like green. Bye.

#### 指導者の表現例

Hello, everyone. (こんにちは、皆さん。)  
 Stand up, please. (立ってください。)  
 Sit down, please. (座ってください。)  
 Open your textbook. (テキストを開けてください。)  
 Let's listen. (聞きましょう。)  
 Good. (いいです。)  
 Very good. (とてもいいです。)  
 That's good. (それは、いいですね。)  
 Good job. (よくやった。)

して、実際に児童にGood morning. Good afternoon. Good night.と挨拶をさせるようにする。

## Let's Listen 2

音声を聞き、登場人物の名前や好きなものなどを聞き取って、□に記入する。

- ★ 本活動のねらいは、好きなものや嫌いなものを含めた数文の挨拶を聞きとることである。
- ★ そこで、児童の実態に応じて途中で止めるなどして、児童が聞き取れたと自信をもてるようにすることが大切である。

## Activity

教室を歩いてペアになり、挨拶をして好きなものやことを伝え合い、相手について分かったことを表に記入する。

- ★ 本活動のねらいは、相手意識をもって挨拶をし、好きなものやことなどを伝え合うことである。
- ★ そこで、ここでは、単に挨拶をし好きなものやことを言い合うのではなく、4年生なりに相手の話に耳を傾け、反応すること、相手に伝わっていることを意識して、問いかけたり繰り返したりすることを大切にさせたい。

You did a good job. (よく頑張りました。)  
 Great. / Wonderful. / Excellent.  
 (すばらしい。)  
 Let's greet our friends.  
 (友達と挨拶をしましょう。)

主に授業を始める際に使う表現を紹介しています。

# Unit 2 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう

## 単元目標 (4時間)

- ・世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。
- ・好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ・相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。

## 言語材料

○How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. Let's (play cards). Yes, let's. Sorry. Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn around.

○天気 (weather, sunny, rainy, cloudy, snowy), 状態・気持ち (hot, cold), 動作 (stand, sit, stop, jump, turn, walk, run, look, put, touch, play), up, down, on, around, left, let's, today, 身体の部位 (hand, leg), 遊び (tag, jump rope, bingo, game), outside, inside, 衣類 (shirt, shorts, sweater, pants, boots, cap)

[既出] 挨拶・自己紹介, I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? 状態・気持ち, how, is, it, right, 身体の部位, 色, スポーツ

## このUnitで学習すること

好きな遊びを尋ね合って伝える。

3年生から外国語活動を経験してきた児童は、簡単な英語で自分の思いを伝え合うことに少し慣れてきている。ここでは、題材を児童の興味・関心が高い遊びとし、児童が言ってみて聞いてみたいという思いをより高めて、思いを伝え合うようにする。第1時では、世界のさまざまな国の遊びの映像資料

**Unit 2 Let's play cards.**

**Let's Watch and Think** ① えいぞうを見て、日本や世界の子どもたちの遊びについて知ろう。

**Let's Chant** How's the weather?

**Let's Watch and Think 1**

**Let's Chant : How's the weather?**

## スクリプト

### Let's Watch and Think 1

- ① I'm in Hokkaido. It's snowy. It's very cold. Let's make a snowman!
- ② Hi, it's cloudy here. Let's play tag in the playground!
- ③ Oh, it's rainy. Let's play cards in the classroom.
- ④ Hi, it's sunny here. Let's go outside and play dodgeball. I like dodgeball very much.

### Let's Sing

(Rain, rain, go away)  
Rain, rain, go away,  
come again another day.  
[ My dog / My cat / Little Sayo ] wants to play,  
rain, rain, go away.  
  
(Eeny, meeny, miny, moe)

Eeny, meeny, miny, moe,  
catch a tiger by the toe.  
If he hollers, let him go.  
Eeny, meeny, miny, moe.

(One little finger)  
One little finger, one little finger, one little finger, tap tap tap.  
Point your finger up. Point your finger down.  
Put it on your head.  
Head! (head→nose→chin→arm→leg→foot)

### Let's Chant : How's the weather?

How's the weather?  
How's the weather?  
Sunny, sunny. It's sunny.  
Wow.  
  
How's the weather?  
How's the weather?  
Rainy, rainy. It's rainy.

の視聴を通し、世界の子供たちと自分たちの生活の共通点や相違点に気付き、多様性を受け止める素地を育てたい。また、本単元最後には、一番人気のあった遊びを実際に学級ですることを目的に、学級のみんなで楽しみたい遊びのインタビューをすることで、より児童の意欲が増すと思われる。

### Let's Watch and Think 1

デジタル教材で、日本や世界の子供たちの遊びの様子を視聴し、分かったことを発表する。

- ★ ここで視聴する様子は、日本や世界の子供たちの生活の一例であり、これらがそれぞれの国を代表するものではないことに留意する必要がある。

### Let's Chant : How's the weather?

- 絵カードを見ながら言う。
- ★ まず、聞き取れた語を発表させ、言えるところから言うとうい。

Oh, no.  
  
How's the weather?  
How's the weather?  
Cloudy, cloudy. It's cloudy.  
OK.  
  
How's the weather?  
How's the weather?  
Snowy, snowy. It's snowy.  
Yeah. Let's make a snowman.

## Let's Listen 1

音声を聞き、登場人物と該当する遊びを線で結びます。

★ 本活動のねらいは、遊びの言い方を聞いて分かることである。何かすることへの誘い方にも出会う。本活動をする前に、指導者が遊びのジェスチャーをし、それが何かを児童に推測させるなどして、児童にさまざまな遊びの言い方に合わせておく。

★ 音声は、登場人物が天気を言って、その天気に応じた遊びに誘ったり、それに応じたりする会話である。誘う表現例Let's～は、指導者が授業を進める際によく使っており、多くの児童はその意味を何となく理解していると思われるが、児童が使う場面は本単元が初めてとなる。

★ また、ポイント・ゲーム、ビンゴ・ゲームなどで遊びの言い方に慣れ親しませるようにするとよい。

## Let's Listen 2

音声で天気と衣類について聞き、天気と衣類を線で結びます。

★ 親が子供に天気に応じた衣類を着るように言っている場面の音声である。児童に身近な場面であり、自分の日常と重ね合わせて聞かせたい。児童にとって身近な場面ではあるが、児童がこれまでに聞いたことがないような表現も含まれる。場面からその表現の意味を推測させたいが、正確に意味が分かったかを確認したり、訳させたりすることのないよう留意したい。

★ 聞く活動に入る前に、誌面にある天気や衣類等を確認しておくとうい。

## Let's Watch and Think 2

デジタル教材を視聴し、世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。

★ 気象予報士がリレー形式で、インドネシア、アメリカ、ニュージーランドの天気を説明している様子を視聴する。扱われている語彙や表現は、天気特有のものであったり、児童が聞き慣れないものであったりす

Unit 1

Let's Listen ① だれがどんな天気とどんな遊びをするかを聞いて、線でむすぼう。

Let's Listen ② 天気と衣類について聞いて、線でむすぼう。

8

## スクリプト

### Let's Listen 1

- ① たける：How's the weather?  
エミリー：It's rainy.  
たける：Oh, well, let's play cards, then.  
エミリー：OK.
- ② さよ：How's the weather?  
ロバート：It's cloudy.  
さよ：Then, let's play tag outside.  
ロバート：Sounds good.
- ③ ウィリアム：How's the weather?  
ひなた：It's sunny.  
ウィリアム：Oh, let's go outside and let's play tag.  
ひなた：Umm, no, sorry. I don't like playing tag. Let's play dodgeball.  
ウィリアム：Yes, let's!

### Let's Listen 2

Unit 2

Let's Watch and Think ② えいぞうを見て、世界のさまざまな天気とその様子について知ろう。

Let's Listen ③ 世界の天気について聞いて、天気の絵を□にかこう。

SUNNY ☀️ CLOUDY ☁️ RAINY ☔ SNOWY ❄️

Activity ④ どんな遊びをしたい友だちが何人いるかたずね合い、表に書こう。

☀️		☔	
遊び	人数	遊び	人数

9

- ① Look, it's sunny. Put on your cap. No, not the brown cap. Put on the red cap.
- ② Oh, it's cloudy. Put on your shirt. No, not the blue shirt. Put on the green shirt.
- ③ Oh, it's rainy. Put on your boots. No, not the black boots. Put on the yellow boots.
- ④ Look! It's snowy. Don't forget your boots. That's right. Put on the black boots. Let's make a snowman!

## Let's Watch and Think 2

気象予報士：Good morning. It's the time of the world weather.

- ① How about Indonesia? Oh, it rains cats and dogs. Don't forget to carry an umbrella.
- ② How about America? Oh, very very strong wind! A big hurricane is coming. Don't go outside and be careful.
- ③ How about New Zealand? Wow, it's snowy. We can see a blanket of snow on the top of the mountains. Don't forget to put on your

るので、児童は難しいという印象をもつかもかもしれない。ここでは、まず、表現を聞き取ることにフォーカスを当てるのではなく、世界の自然の様子を知ることにフォーカスを当て、天気を通じて、世界への興味関心を高めたい。

## Let's Listen 3

音声で、国名と天気を聞き取り、□に天気の絵を描く。

★ 児童は、さまざまな国名やその位置などについて明確な知識はないため、一度音声を聞いて聞き取れた国名を発表させ、誌面でその位置を確認してから、再度音声を聞かせ、□に番号を記入させるとよい。

(Activityは13ページに掲載)

### 指導者の表現例

How's the weather today?  
(今日の天気はどうですか?)  
Let's interview.  
(インタビューをしましょう。)  
Make a pair. (ペアを作りなさい。)  
Ask each other. (互いに尋ね合いなさい。)  
Who plays dodgeball?  
(ドッジボールをするのは誰ですか?)  
You did a good job. (よく頑張りました。)

主にActivityを行う際に使う表現例を紹介しています。

gloves!

## Let's Listen 3

- No.1 : I'm in Japan. It's sunny here.
- No.2 : I'm in Egypt. It's sunny.
- No.3 : I'm in Greenland. It's snowy.
- No.4 : Hi, I'm in Canada. It's cloudy today.
- No.5 : I'm in Brazil. It's rainy.
- No.6 : I'm in Hawaii. It's sunny. It's so hot!

# 3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな？

## 単元目標 (3 時間)

- ・世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ・相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。

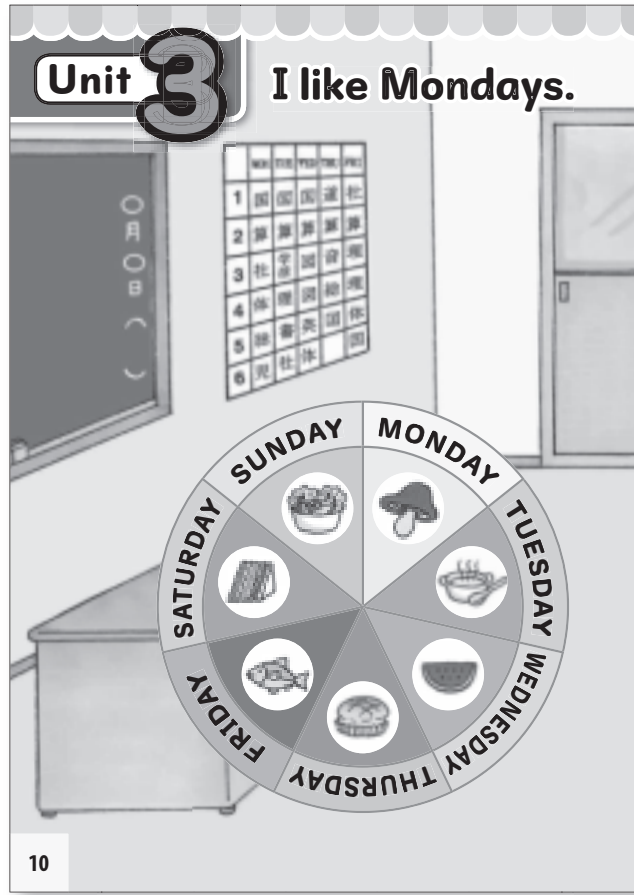
## 言語材料

- What day is it? It's (Monday). Do you like (Mondays)? Yes, I do. / No, I don't. I like (Mondays).
- day, 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday), 果物・野菜 (mushroom, watermelon), 飲食物 (soup, pie, sandwich), fresh [既出] 挨拶, What (sport) do you like? How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. it, is, 飲食物, スポーツ, 遊び

## このUnitで学習すること

一週間の予定や好きな曜日を伝え合う。

児童は外国語活動の授業にずいぶん慣れ、指導者や友達と英語を使ってコミュニケーションを図ることを通して、言葉でやり取りをする楽しさを感じてきた頃と思われる。そのような時期に、3年生から慣れ親しんでいる表現を使って、コミュニケーションを図る体験をする。ここでの題材は、児童に身近な曜日であるが、児童が曜日を考える際には、学校の時間割や、テレビ番組、おけいこ事などを思い浮かべられると思われる。そこで、本単元は、自分の一週間の生活と結び付けて曜日を扱うことにした。生活と結び付くからこそ児童は、「○曜日は好き、でも○曜日は嫌い。だって、～だから」という思いを膨らませるであろう。



## スクリプト

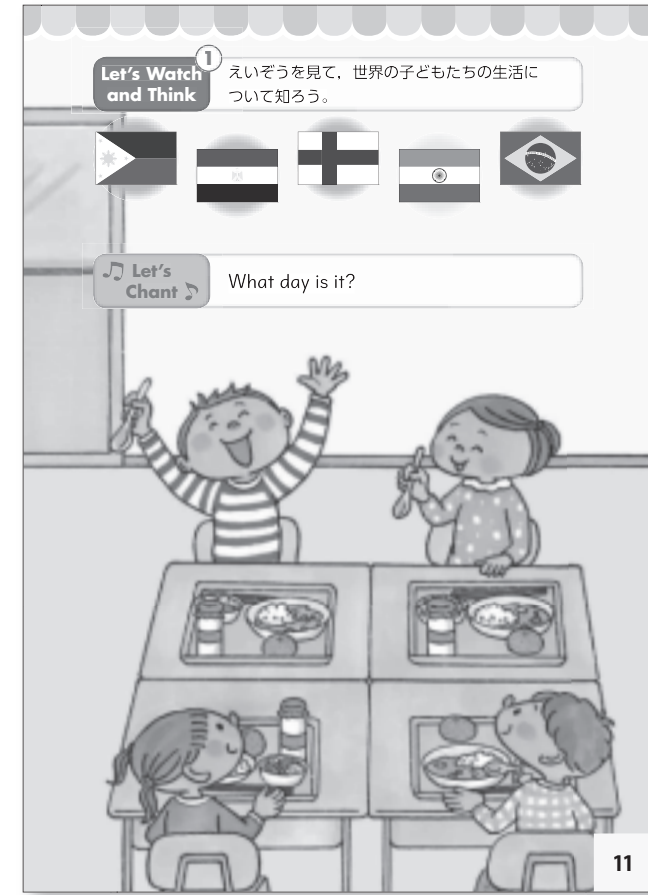
### Let's Watch and Think 1

- ① Hi, I'm Ruth. I'm in the Philippines. I help my mother after school on Mondays.
- ② Hi, I'm Mustafa. I'm in Egypt. I get up at five on Tuesdays.
- ③ Hi, I'm Emilia. I'm in Finland. I study with a computer on Sundays.
- ④ Hi, I'm Manish. I'm in India. I play Kabaddi on Fridays.
- ⑤ Hi, I'm Jessica. I'm in Brazil. I play soccer on Saturdays.

### Let's Chant : What day is it?

Monday mushroom, Tuesday soup, Wednesday watermelon, Thursday circle pie, Friday fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad.

What day is it? It's Monday.



Monday, mushroom. (clap) (clap)  
 What day is it? It's Tuesday.  
 Monday, mushroom, Tuesday, soup. (clap) (clap)  
 What day is it? It's Wednesday.  
 Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon. (clap) (clap)  
 What day is it? It's Thursday.  
 Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie. (clap) (clap)  
 What day is it? It's Friday.  
 Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish. (clap) (clap)  
 What day is it? It's Saturday.  
 Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday, sandwich. (clap) (clap)  
 What day is it? It's Sunday.  
 Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday, sandwich, Sunday, salad. (clap) (clap)

## Let's Watch and Think 1

世界の子供たちの平日の放課後や週末の過ごし方を知る。

- ★ デジタル教材では、フィリピンや、エジプト、フィンランド、インド、ブラジルの子供たちが、自身のとある曜日にどのようなことをするかを紹介している。
- ★ 児童には、これらの映像を視聴し、世界のさまざまな地域の同年代の子供がどのような生活をしているかを知る機会となる。映像の中の子供たちの様子から、自分たちとの共通点や相違点など、気付いたことを発表させる。しかし、単に共通点や相違点の気付きで終わらず、それぞれ言語も習慣も違うが、同じ地球に住む仲間であり、それぞれが与えられた生命を精いっぱい生きる尊い存在であると感じさせたい。
- ★ 映像で紹介される子供たちの様子は、一例であって、それがその国の全てを表しているわけではないことに留意する。

## Let's Chant : What day is it?

- ★ 7曜日全てではないが、曜日の最初の音と、そのあとの食べ物の最初の音とが一致するように作られたチャンツである。このチャンツを繰り返し聞いたり、言ったりして英語の音を楽しませたい。
- ★ 繰り返しが多く、長いチャンツとなっている。児童の実態に合わせて、スクリプトの最初の3行のみを扱うなどするとよい。

## Activity (p.11より)

教室内を歩いて回りペアになって、学級でしたい遊びについて紹介し合い、表に記入する。

- ★ 単に自分の好きな遊びを伝え合うのではなく、学級のみんなで遊ぶという目的を十分に意識して、取り組ませたい。



## Let's Listen

登場人物の子供の一週間の予定を聞き、そのあとの曜日クイズに答える。

- ★ 登場人物が一週間の予定を話しているのを聞いて、質問に答える活動である。8文という分量を聞き取ることは、この段階の児童には困難だと思われるが、誌面にある一週間の予定のイラストが大きなヒントになる。児童の実態に応じて、音声を聞かせる前に、誌面の一週間の予定を確認してもよい。
- ★ この単元では、動作を表す語句がたくさん扱われている。そこで、この活動の前後に、教師用動作絵カードを使って、キーフレーズ・ゲームやミッシング・ゲーム、児童用動作絵カードを使って、ビンゴ・ゲームやメモリー・ゲームをして、十分に動作を表す語句に慣れ親しませるようにする。
- ★ ここで、十分動作の語句の言い方に慣れ親しませておくことが、次のLet's Playにつながる。

## Let's Play

自分の一週間の予定について、曜日クイズを出し合う。

- ★ まず、指導者がクイズを作り、前活動Let's Listenに倣って、児童にクイズを出す。その中で、曜日の尋ね方や動作を表す語句の言い方に十分に慣れさせるようにする。
- ★ 次に、実際に児童に一週間の予定を表に記入させ、児童がそれをもとにクイズを出して、児童に答えさせる。また、一週間の予定を見せることがクイズに答える際の大きなヒントになることから、児童が慣れてきたら、一週間の予定を見せず、聞かせるだけにし、グループで協力してクイズに答えるようにさせるのも工夫である。
- ★ このように十分クイズの出し方に聞き慣れてから、代表児童とほかの児童で行う、そのあとペアで行うなどと細かなステップを踏み、児童に「できた」という達成感をもたせるようにすることが大切である。

**Let's Listen** 一週間の予定について聞いて、番号を( )に書こう。

MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY
( )	( 2 )	( )	( 1 )

**Let's Play** あなたの一週間の予定を入れて曜日クイズをしよう。

MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY

**Let's Watch and Think** ② すきな曜日についてたずねたり、遊びにさそう様子を見たりして、わかったことを書こう。

①

②

③

12

## スクリプト

### Let's Listen

- I play with my friends on Mondays.  
 I study English on Tuesdays.  
 I play with my friends on Wednesdays.  
 I play the piano on Thursdays.  
 I go swimming on Fridays.  
 I play soccer on Saturdays.  
 I watch TV on Sundays.  
 Now, I have a question.
- No.1 : Today, I play the piano. What day is it today? 解答 It's Thursday.  
 No.2 : Today, I study English. What day is it today? 解答 It's Tuesday.  
 No.3 : Today, I play soccer. What day is it today? 解答 It's Saturday.  
 No.4 : Today, I go swimming. What day is it today? 解答 It's Friday.



Unit 3

FRIDAY	SATURDAY	SUNDAY
( 4 )	( 3 )	( )

**Activity** ペアになってすきな曜日をたずね合い、あなたと同じ曜日がすきな友だちをさがそう。

名前	すきな曜日
あなた	

13

## Let's Watch and Think 2

- ① ロバート : Takeru, let's play tennis after school.  
 たける : Sounds good, but I don't have a racket today.  
 ロバート : No problem. I have two rackets.  
 たける : Great!
- ② エミリー : Do you like Sundays, Sayo?  
 さよ : No, I don't. I clean my room, and do homework on Sundays. I'm very busy, so I don't like Sundays. Do you like Sundays, Emily?  
 エミリー : Oh, yes, I like Sundays. I watch my favorite TV program on Sundays.
- ③ ウィリアム : Hi, Sayo. Today is Wednesday. We have a soccer game today. Let's go to the playground and let's play soccer!  
 さよ : Sure. I like soccer and I like Wednesdays very much.  
 ウィリアム : Me, too.

## Let's Watch and Think 2

デジタル教材で、登場人物が曜日や遊びについてやり取りする様子を視聴し、分かったことを□に記入する。

- ★ 二人のまとまりのある会話を聞いて、おおよそのことを理解することがねらいである。しかし、まだこの段階では難しく感じる児童もいることから、視聴する前に、誌面イラストを見て、どのような会話をしているかを想像させてから取り組むとよい。
- ★ 単なる聞き取りとならないよう、活動後は、会話の内容に関連した、Do you like Sundays? Do you like soccer? What TV program do you like?などの質問をし、Activityにつなげるようにする。

## Activity

教室を歩いてペアになり、自分と同じ曜日が好きな人を見つける。

- ★ 教室内を歩いて回り、ペアになって好きな曜日を尋ね合う。また、その理由を伝える。その際には、児童の実態に応じて、分かる語句でできるだけ英語で伝えるよう求めてもよいし、日本語で伝えてもよいとすることも考えられる。
- ★ 理由を伝えることで、同じ曜日が好きでもさまざまな理由があることが分かり、互いに新しい一面を知る機会となり、相互理解が深まると思われる。

### 指導者の表現例

What day is it today?  
 (今日は何曜日ですか。)  
 What day do you like?  
 (何曜日が好きですか。)  
 Please listen carefully.  
 (よく聞きなさい。)  
 Do you remember?  
 (覚えていますか。)

主にActivityの際に使う表現例を紹介しています。



単元目標 (4 時間)

- ・世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。
- ・自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ・相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。

言語材料

- What time is it? It's (8:30). It's ("Homework Time"). How about you?
- 数字 (forty, fifty, sixty), a.m., p.m., about, 日課・時間 ([wake-up / breakfast / study / lunch / snack / dinner / homework / TV / bath / bed / dream] time)
- [既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. What day is it? It's (Monday). what, is, it, book, 数 (1~60), 曜日, スポーツ, 遊び

このUnitで学習すること

世界には時差があることを知り、好きな時間を伝え合う。

学年が上がるにつれ、児童の興味関心が広がり、また得手不得手も出てきて、それぞれの生活も一様ではなくなってくると思われる。そこで、この単元では、一日の生活を題材に、どんな一日を過ごしているのか、また、一日の中で一番好きな時間はいつかなどを伝え合う。そうすることで、これまで知らなかった友達の新しい一面に出会い、言葉は相手のことを知り、自分のことを知ってもらうためにある、仲良くなるためにあることを実感させたい。

ただ、日課を表す表現はまだこの段階では聞いたり言ったりすることは難しいと考え

Unit 4 What time is it?

14

スクリプト

Let's Chant : What time is it?

What time is it? What time is it? (= ※)  
 It's 6 a.m. It's "Wake-up Time."  
 ※It's 7 a.m. It's "Breakfast Time."  
 ※It's 10 a.m. It's "Study Time."  
 ※It's 12 p.m. It's "Lunch Time."  
 ※It's 3 p.m. It's "Snack Time."  
 ※It's 5 p.m. It's "Homework Time."  
 ※It's 7 p.m. It's "Dinner Time."  
 ※It's 8 p.m. It's "Bath Time."  
 ※It's 9 p.m. It's "Bed Time."  
 ※It's 3 a.m. It's "Dream Time."

Let's Watch and Think 1

What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." Good morning.  
 What time is it? It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." Yummy.

Let's Chant What time is it?

Let's Watch and Think 1  
えいぞうを見て、時刻と日課を線でむすぼう。

15

What time is it? It's 10 a.m. It's "Study Time." I like English.  
 What time is it? It's 12 p.m. It's "Lunch Time." I love school lunch.  
 What time is it? It's 3 p.m. It's "Snack Time." I'm happy.  
 What time is it? It's 5 p.m. It's "Homework Time." I study Japanese.  
 What time is it? It's 7 p.m. It's "Dinner Time." I'm hungry.  
 What time is it? It's 8 p.m. It's "Bath Time." I'm fine.  
 What time is it? It's 9 p.m. It's "Bed Time." Good night.  
 What time is it? It's 3 a.m. It's "Dream Time." I'm happy.

た。そこで、Breakfast Time, Snack Timeなどと名詞の形で扱っている。最後には、一日の中で一番好きな時間を理由とともに伝え合う。また、世界の時刻も扱い、時差があることを知る。

Let's Chant : What time is it?

- ★ ビートに合わせて、What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." という時刻の尋ね方と答え方を聞かせて慣れさせる。その場合、日課の言い方にはジェスチャーを交えるなどすると児童の理解が深まるであろう。

Let's Watch and Think 1

デジタル教材の視聴を通して、登場人物がどの時刻に何をするか、時刻と日課を線で結ぶ。

- ★ デジタル教材では、時刻とともにその時刻にする日課が示される。それを視聴しながら、児童は誌面にある時刻と日課とを線で結んでいく。本活動のねらいは、時刻や日課の表し方を知ることである。
- ★ 本活動のあとは、誌面にある時刻や日課のイラストを使ったポインティング・ゲームなどで、時刻や日課の表し方に慣れ親しむ活動が考えられる。

指導者の表現例

Draw lines. (線を引きなさい。)  
 First, listen carefully.  
 (まず、しっかり聞きましょう。)  
 What can you hear? (何が聞こえますか。)  
 I like "Bath Time."  
 (「お風呂の時間」が好きです。)  
 Do you like "Bath Time"?  
 (「お風呂の時間」は好きですか。)

主にLet's Watch and Think 1で使用  
する表現例を紹介しています。



## Let's Watch and Think 2

デジタル教材を視聴し、時計を完成させ、時刻と日課を線で結ぶ。

- ★ 日本の東京が正午のとき、世界の都市の時刻やそのときの行動を知ることで、世界の子供たちがさまざまな地域でさまざまな生活をしていることを感じさせたい。
- ★ 教室でインターネットに接続することができるのであれば、世界のライブカメラに接続し、リアルタイムで世界のさまざまな都市などの様子を映像で見ることができる。
- ★ 児童が時刻を尋ねたり答えたりする表現や日課を表す表現に慣れてきたところで、本活動では、時刻と日課を聞き取って、線で結ぶ。時刻と日課を結ぶことで、a.m.とp.m.の意味を推測させるようにする。
- ★ 4年生では、世界の国々について学習しないが、テレビの情報などから世界のさまざまな国や地域について知っていることも考えられるので、児童の実態に応じて、誌面の都市以外の都市についても扱うことが考えられる。

## Let's Listen

登場人物の好きな時刻を聞き取り、時計を完成させる。

- ★ 本活動のねらいは、時刻や日課を聞き取ることである。活動の前に、誌面にある日課が何かを児童と確認しておくことよい。
- ★ 本活動の前に、ビンゴ・ゲームなどで時刻や日課の言い方に慣れ親しませておくことよい。
- ★ 聞き取りを始める前や後、あるいは途中に、誌面に掲載されている日課について、指導者がI like “~ Time.” I have “~ Time” at ....と自分の日課について紹介したり、児童にDo you like ~?や、What time is your “Bath Time”?などと尋ねたりして、単に聞き取りの活動で終わらないようにすることが大切である。

**Let's Watch and Think 2** 今、何時で何をしているのかな。時刻を聞いて、時計を完成させ、日課と線でむすぼう。

**Let's Listen** 時刻を聞いて、時計を完成させよう。

16

## スクリプト

### Let's Watch and Think 2

- ① グレース : Hi, this is Grace. I'm in London. It's 3 a.m. It's “Dream Time.” How about you, Graham?
- ② グラハム : Hi, Grace. I'm in Tokyo. It's 12 p.m. It's “Lunch Time.” How about you, Jane?
- ③ ジェーン : Hi, Graham. I'm in San Francisco. It's 7 p.m. It's “Dinner Time.” How about you, Chris?
- ④ クリス : Hi, Jane. I'm in New York. It's 10 p.m. It's “Bed Time.” See you!

### Let's Listen

- ① さよ : I like 3 p.m.  
友達 : Why?  
さよ : It's “Snack Time.” I like sweets.
- ② ロバート : I like 7 a.m.



Unit 4

**Activity** あなたのお気に入りの時刻とその理由を伝え合おう。

名前	あなた		
時刻	:	:	:
気に入っている理由			

17

- 友達 : Why?  
ロバート : It's “Breakfast Time.” I like *miso* soup.
- ③ たける : I like 8 p.m.  
友達 : Why?  
たける : It's “Bath Time.” I like my new shampoo.
- ④ ジョアン : I like 5 p.m.  
友達 : Why?  
ジョアン : It's “Homework Time.” I like English.

## Activity

気に入っている時刻とその理由を伝え合う。

- ★ 友達とペアになって、好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。分かったことを表に記入する。
- ★ この活動のあと、友達の気に入っている時刻や日課とその理由について、思ったことや感じたことを伝える場を設けて、友達との交流をより深める場としたい。
- ★ 児童の興味・関心に合わせて、聞き取った内容が誰を表しているかを当てるWho am I? クイズのような活動をすることも考えられる。
- ★ 本単元では、児童の負担感を考えて、日課を“Wake-up Time”や“Breakfast Time”などとしている。また本単元で、一日の生活のどの時間帯がなぜ好きなのかを交流しておくことが、5年生教材We Can! ①のUnit 4での日課の学習につながる。
- ★ 好きな時間帯が同じであっても、その好きな理由が児童によって違うことが考えられる。この活動を通して、友達の新しい面に気付き、友達との交流を深める機会としたい。

### 指導者の表現例

Connect the picture and the time with a line. (絵と時刻を線で結びなさい。)  
Write the time. (時刻を書きなさい。)  
Let's talk about our favorite times. (気に入っている時間を伝えましょう。)  
Let's ask each other some questions. (聞き合ってみよう。)

主にLet's Watch and Think 2やActivityで使う表現例を紹介しています。



# 5 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう

## 単元目標 (4時間)

- ・文房具などの学校で使う物や、持ち物を探ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・文房具など学校で使う物について、探ねたり答えたりして伝え合う。
- ・相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。

## 言語材料

○Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.

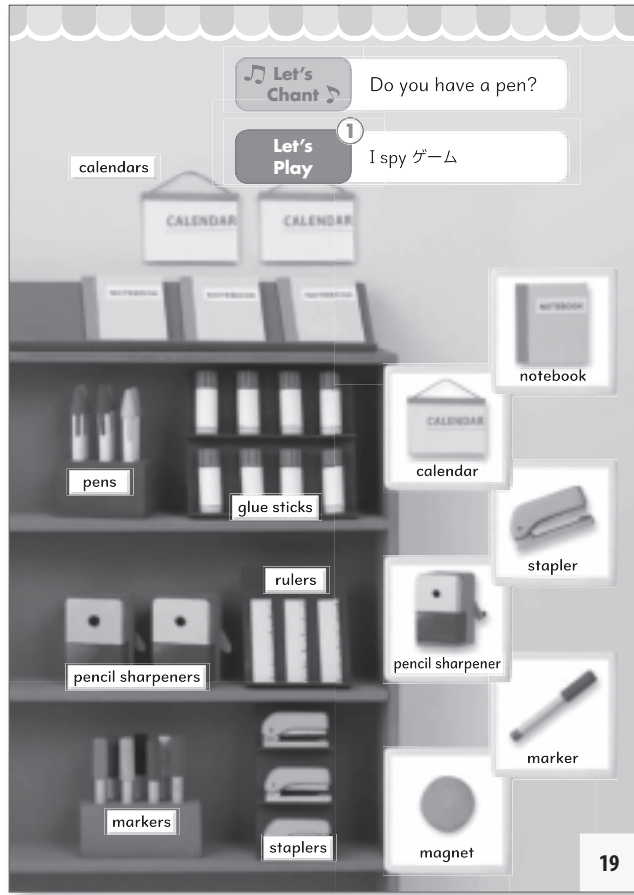
○have, 身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar), 状態・気持ち (short)

[既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. What day is it? It's (Monday). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? I like (soccer). (The "A" card), please. How many (apples)? Ten (apples). 状態・気持ち (big, small, long, short), 形, 色, スポーツ, 動物, 飲食物, 数, 身の回りの物 (pencil, eraser, ruler, crayon), 数 (1~60)

## このUnitで学習すること

友達の好みに合った文房具セットを作って、紹介する。

本單元では、日頃から、自分の持っている物と友達のそれとを比べたり、同じ物をそらえて持ったりなど、児童の興味・関心の高い、文房具を扱う。児童は、実際によく使っている文房具を英語でどういふのかを知ること、英語をより身近に感じることであろう。



## スクリプト

### Let's Watch and Think 1

- A: Welcome to my shop. I have notebooks, calendars, staplers and pencil cases.  
B: Wonderful. How many notebooks?  
A: Well, let's count together. One, two, three, four, five, six. Six notebooks!
- A: Here is my shop. I have some markers, pencil sharpeners and staplers.  
B: Pretty. How many markers?  
A: One, two, three, four, five, six, seven. Yes, I have seven markers and I have six colors.
- A: This is my shop. Welcome. I have pencils, erasers, glue sticks and pens.  
B: Wow! How many erasers?  
A: One, two, three, four, five, six, seven, eight. Eight erasers.
- A: Come on in! This is my shop. I have some pencil cases, magnets, notebooks and markers.

B: Great. How many magnets?  
A: One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine. Nine magnets.

### Let's Chant : Do you have a pen?

Do you have a pen? Yes, I do.  
Do you have an eraser? No, I don't.  
Do you have a pencil case? Yes, I do.  
Do you have an eraser? No, I don't.  
Do you have a ruler? Yes, I do.  
Do you have an eraser? No, I don't.  
Do you have a pen? Yes, I do.  
Do you have an eraser? No, I don't.  
Do you have a stapler? Yes, I do.  
Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!

本単元の最後に、誰かのために文房具セットを、お店屋さんごっこの要領でやり取りして作り、贈る活動を想定している。贈る誰かの好みや持ち物などを考え、その人のために文房具セットを作るという、相手意識と目的意識のある場面設定を心掛けたい。そして、作ったセットをその理由とともにみんなの前で紹介する。

### Let's Watch and Think 1

デジタル教材を視聴し、文房具の言い方を知り、その文房具の数を数える。

- ★ 文房具をさし示しながら文房具を紹介したり、数えたりする様子を視聴させ、文房具の言い方やいくつ持っているかという表現に興味をもたせることをねらいとしている。

### Let's Chant : Do you have a pen?

- ★ ビートに合わせて、Do you have a / an ~? Yes, I do. / No, I don't.という尋ね方と答え方を繰り返し聞いたり言ったりして、これらの表現に慣れ親しませることがねらいである。

### Let's Play 1

指導者が誌面や身の回りの物について出すヒントを聞き、それが何かを答える。

- ★ 指導者は、誌面の文房具や教室にある物の一つを選び、その色や形状を、I spy something with my little eye ... something blue.と言い、各児童はそれに該当する物を答える。指導者が選んだ物を言い当てれば、1ポイントもらえる。

## Let's Listen

音声で筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて名前を書く。

- ★ 本活動のねらいは、文房具を聞き取ることである。ただ聞き取ることだけに終始せず、この活動の前に、まず指導者が児童の筆箱やその中身について、What do you have in your pencil case? How many pencils do you have? Let's count. Do you have a red pencil? What color is your pencil case?などと尋ね、やり取りをすることが大切である。そうしたうえで、それでは、登場人物はどんな物を持っているかと投げかけ、本活動に入っていきとよい。
- ★ 児童の実態に合わせて、数や色に注意して聞くように伝えるなど、「聞こう」とする意欲が高まるよう声かけの工夫をしたい。

## Let's Watch and Think 2

デジタル教材を視聴し、世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。

- ★ スウェーデン、韓国、アメリカの子供が自分のかばんの中身を紹介している様子を視聴する。児童は、同年代の世界の子供たちがかばんの中にどのような物を持っているかと興味をもって視聴すると思われる。
- ★ ただし、ここで紹介しているのは一例であって、それぞれの国の代表的なかばんの中身ではないことに留意する必要がある。
- ★ かばんの中身から、その子供の学校ではどのような授業や学校生活なのかを児童に考えさせるのも面白い。


## Let's Play 2

ペアの一人が文房具カードを誌面に置いて自分の文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。

- ★ ペア (AB) になり、Aがどんな文房具セ

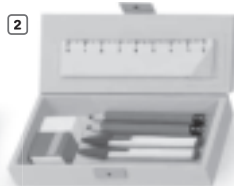
**Let's Listen** 登場人物の筆箱の中身について聞いて、( )に名前を書こう。

①




( ロバート )

②




( さよ )

③



( たける )

④



( ひなた )

**Let's Watch and Think** ② えいぞうを見て、世界の子どもたちのかばんの中身について、気づいたことを□に書こう。

教科書を持っていかない。お弁当を持っていく子もいる。サンダルや室内履きを持っていく子もいる。

20

## スクリプト

### Let's Listen

Hi, everyone. I'm Sayo. Please find my pencil case. I have one eraser, one ruler, two pencils and two pens, red and blue. Can you find my pencil case? (解答 No.2)

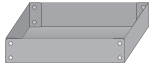
Hi, I'm Takeru. Please find my pencil case. I have one eraser, one pencil and three pens, red, yellow and purple. Can you find my pencil case? (解答 No.3)

Hello, everyone. I'm Hinata. Please find my pencil case. I have one ruler, one glue stick, two pencils and two pens, red and pink. Can you find my pencil case? (解答 No.4)


Hi, I'm Robert. Please find my pencil case. I have one eraser and four pencils. Two pencils are red and yellow. Can you find my pencil

Unit 5

**Let's Play** ② 文房具絵カードをならべて、文房具セットを作り、友だちとつたえ合おう。



**Activity** 文房具セットを作って、友だちにおくろう。



だれに

21

case? (解答 No.1)

## Let's Watch and Think 2

- ① Hi, this is my bag. I have a banana. I have an apple. I have sandals, too. I don't have textbooks in my bag. (スウェーデン)
- ② Hello! This is my bag. I have indoor shoes. I have a water bottle. I have color pencils. I have a toothbrush. I don't have textbooks in my bag. (韓国)
- ③ Hi. This is my bag. I have a sandwich, a water bottle and an apple. I also have a folder with my homework. I don't have textbooks in my bag. (アメリカ)

ットにしたいかを考えて、文房具カードを誌面に置く。その文房具セットはBに見えないようにしておく。AはBに、セットの文房具を伝える。Bは文房具カードを自分の誌面に置き、置き終わったら誌面を見せ合い、同じ中身のセットになったかを確認する。交代してもう一度行う。

- ★ また、BがDo you have ~? と尋ねて同じ文房具セットを作るのも楽しい。

## Activity

身近な人のために文房具セットを作り、誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介する。

- ★ 児童一人一人がある身近な人のために文房具カードを用いて文房具セットを作る。作った文房具セットについて、誰のためにどんな文房具セットにしたかを紹介をする。また、どうしてそのようなセットにしたのかも紹介し合うことで、それぞれの思いをより理解することになる。
- ★ この活動の前に、教師が「いつもものさしを貸してという〇〇先生のために、ものさしを2本入れた文房具セットにしました」などとデモンストレーションを行うことで、誰のためにどんな文房具セットがよいかを児童に考えさせるようにするとよい。

### 指導者の表現例

Touch the picture with your finger.  
(絵を指でさしなさい。)

Let's make stationery sets.  
(文房具セットを作りましょう。)

Cut the stationery cards out.  
(文房具カードを切り抜きなさい。)

Talk in pairs. (ペアで話しなさい。)

主にLet's Play 2で使う表現例を紹介しています。



# 6 Alphabet

アルファベットで文字遊びをしよう

## 単元目標 (4時間)

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。
- ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。
- ・相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。

## 言語材料

- Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have (a "b")? Yes, I do. / No, I don't. That's right. Sorry. Try again.
- 小文字 (a~z), letter, try, again, bookstore, juice, news, school, station, taxi, telephone
- [既出] What do you want? up, down, left, right, look, shop, 数 (1~60), 大文字 (A~Z), 身の回りの物など

## このUnitで学習すること

身の回りからアルファベットの文字を探し、文字クイズを出し合う。

3年生ですでに、アルファベットの大文字に出会っている。その際には、町に隠された大文字を探したり、自分の名前のイニシャルの大文字を紹介したりして、大文字を題材にした活動を経験している。4年生では、そのような経験も踏まえ、身の回りにある看板や表示から小文字を探したり、大文字と比較して小文字に慣れ親しんだりする。そして、単元最後には、これまでに慣れ親しんだ表現を使って、小文字クイズを作ったり答えたりしてコミュニケーションを楽しむ中で、目的をもって小文字を見て、その名称を読んだり認識を深めたりするようにする。

**Unit 6 Alphabet**

**Let's Watch and Think** えいぞうを見て、アルファベットの小文字について知ろう。

a b c d e f g h i j k l m

22

**Let's Sing** ABC Song **Let's Chant** Alphabet Chant

**Let's Play 1** アルファベットさがしをしよう。

**Let's Play 2** おはじきゲーム

n o p q r s

23

## スクリプト

### Let's Watch and Think

- A : Look! What is that sign?  
B : Which one? How many letters?  
A : Six letters, well, P-O-L-I-C-E.  
B : Oh, that's the police box.
- A : Look! What's that display? B-O-O-K-S-T-O-R-E.  
B : Oh, that's the bookstore.  
A : Really? I like books. Let's go to the bookstore.
- A : Hurry up! I want to catch a taxi.  
B : Then, please find a car with a T-A-X-I sign on it.  
A : T-A-X-I, taxi! I got it.
- A : Look, what is "P" on that building?  
B : Oh, a big green "P"?  
A : Yes.  
B : "P" is a "parking."
- A : Let's meet at the bus stop at nine, OK?

B : Sorry, please repeat that.  
A : Let's meet at the bus stop, B-U-S S-T-O-P.  
B : I see, let's meet at the bus stop at nine. See you.

### Let's Sing : ABC Song

a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n,  
o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z.  
Happy, happy, I'm happy. I can sing my abc.

### Let's Chant : Alphabet Chant

- ① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z.
- ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.
- ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.

## Let's Watch and Think

デジタル教材で、身の回りにある看板や標示を見て、アルファベットの小文字を知る。

- ★ 身の回りには、アルファベットの大文字小文字が多く使われていることに気付くとともに、小文字を知ることがねらいである。
- ★ デジタル教材のほかに、校区内にある看板や標示の写真からも小文字を見つける活動が考えられる。

## Let's Sing, Let's Chant

絵カードや誌面の小文字を見ながら、歌やチャンツを歌ったり言ったりする。

- ★ 何度も歌ったり言ったりして、読み方に慣れ親しむことがねらい。また、3年生時同様、zはイギリス英語とアメリカ英語では読み方が異なることなどに触れるとよい。

## Let's Play 1

誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して発表する。

- ★ 誌面にある架空の街のさまざまな看板や標示からアルファベットの小文字を探す。ここでは、児童が実際に身の回りで目にする文字は、活字体とは限らないことから、あえて筆記体などでも文字を記している。
- ★ また、ここでは、看板や標示の単語を読むことをねらいとはしていない。身の回りにはこのようにアルファベットの文字があることに気付かせるとともに、文字が集まって意味のある語になることに気付かせようにする。

## Let's Play 2

誌面の周りにある小文字を使っておはじきゲームをする。

- ★ 小文字の名称の読み方に慣れ親しむことがねらいである。各児童は、小文字の上におはじきを置き、指導者が発音する文字のおはじきを取る。おはじきがなくなったら勝ち。

## Let's Listen

音声を聞き、どの看板や標示かを考えて番号を書く。

- ★ 小文字の読み方に慣れ親しませることがねらいである。児童の実態に応じて、活動の前に、誌面にある標示の文字を確認しておくことよ。
- ★ 児童の実態に応じて、この活動に示された五つの標示だけではなく、児童用テキスト22, 23ページの街全体で同様の活動を行うことも考えられる。

## Activity 1

五つの標示から一つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の標示を当てる。

- ★ ペアになり、一人が誌面にある五つの標示から一つを選ぶ。もう一人が、Do you have ~?と文字について尋ね、どの標示を選んだかを当てる活動である。文字を題材に、Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't.という表現を使ってやり取りをすることがねらいである。
- ★ この活動に入る前に、代表児童に一つの標示を選ばせ、まず指導者がDo you have ~?と尋ね、他の児童も一緒に質問するように巻き込みながら、進め方を提示することよ。
- ★ 児童の実態に応じて、五つの標示だけではなく、児童用テキスト22, 23ページの街のイラストにある標示で同様の活動を行うことも考えられる。

## Activity 2

10色から好きな色を選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を当てる。

- ★ Activity 1と同様の活動であるが、この活動では、題材を自分の好きな色としている。
- ★ 難易度を上げるために、当てる側の質問の回数を2回までとするなど、ルールを決めて行うのも工夫である。また、当てる側

Let's Listen どの看板や標示かを聞いて、番号を□に書こう。

24

## スクリプト

### Let's Listen

- No.1 : I have four letters. I have a "T" and an "X." Who am I? (TAXI)  
 No.2 : I have a "T" and three "e"s. My sound begins with [tel]. Who am I? (Telephone)  
 No.3 : I have two "t"s. I have an "a" and I have an "i." I have seven letters. Who am I? (Station)  
 No.4 : I have two "s"s and I have a "B." I have seven letters and I have two words. Who am I? (Bus Stop)  
 No.5 : I have six letters and I have two words. I have a "U" and a "D." Who am I? (UP / DOWN)

### Activity 1

- あやめ: What is my sign?  
 れん: Do you have an "S"?

Unit 6

Activity 1 すきな看板や標示を一つえらんで、その文字について友だちとたずね合い、相手のえらんだものを当てよう。

Activity 2 すきな色一つえらんで、その色の文字について友だちとたずね合い、相手のえらんだ色を当てよう。

red	blue	pink	green	brown
black	white	orange	purple	yellow

25

- あやめ: Yes, I do. I have an "S."  
 れん: Do you have a "C" ?  
 あや: No, I don't. I don't have a "C."  
 れん: Do you have an "N" ?  
 あやめ: Yes, I do. I have an "N."  
 れん: I got it!  
 あやめ: Ren, what is my sign?  
 れん: It's "NEWS."  
 あや: That's right. My sign is "NEWS."  
 先生: Ren, great!

## Activity 2

- あやめ: What's my favorite color? Please guess.  
 れん: OK. Do you have a "w" ?  
 あやめ: No, I don't. I don't have a "w."  
 れん: Do you have a "p" ?  
 あやめ: No, I don't. I don't have a "p."  
 れん: Do you have an "r" ?  
 あやめ: No, I don't. I don't have an "r."  
 れん: Umm. Do you have a "b" ?  
 あやめ: Yes, I do. I have a "b."

- が質問をするのではなく、次のように出題をするという形にすることも考えられる。出題者が、Hint No.1: I have five letters. Hint No.2: I have "k." Hint No.3: I have "b."などとヒントを出し、それでも相手が分からない場合は、相手がDo you have ~?と尋ねるなどという形で進めることも考えられる。
- ★ また、児童用テキスト18, 19ページ (Unit 5のパノラマ誌面) を使って、この活動を行うことも考えられる。
  - ★ さらに、身の回りの英語標示辞書を作ることも考えられる。児童に事前に、お菓子の箱や雑誌などから身の回りにあるアルファベット文字による標示を探して持って来させる。それらを、英語、ローマ字、CD・DVDなどの文字の名称読みをするもの等に分類して、黒板に貼る。黒板を見て、指導者対児童、あるいは児童同士で同様の活動をする。集めた標示は、画用紙などに貼ってまとめ「アルファベット文字辞典」として教室に置いて、いつでも見られるようにしておく。

## 指導者の表現例

Open your textbook to pages 24 and 25. (テキストの24, 25ページを開けてください。)  
 Very good. (とてもよいです。)  
 Guess. (推測して。／考えてごらん。)  
 Good question. (いい質問です。)  
 Write the numbers in the squares. (四角の中に数を書きなさい。)

主にLet's Listen, Activity 1, 2で使う表現例を紹介しています。

- れん: Wow! Do you have an "e" ?  
 あやめ: Yes, I do. I have an "e."  
 れん: I got it. "Blue."  
 あやめ: That's right. I like blue.

# 7 What do you want? ほしいものは何かな？

## 単元目標（5時間）

- ・食材の言い方や、欲しいものを探ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。
- ・欲しい食材などを探ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。
- ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

## 言語材料

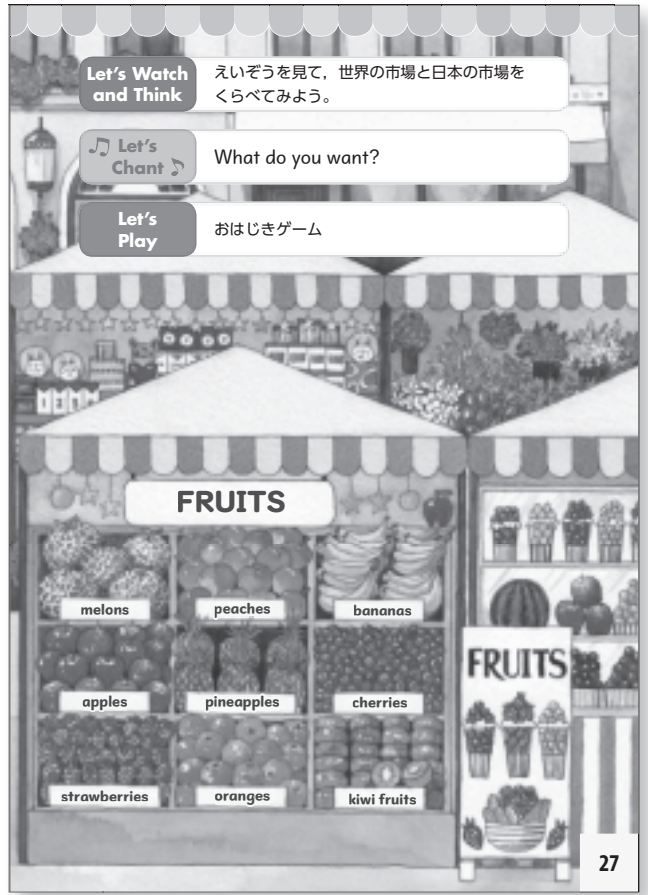
- What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.
  - 果物・野菜 (vegetable, potato, cabbage, corn, cherry), 飲食物 (sausage)
- [既出] What's this? It's (a fruit). Do you have (a pen)? Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). 果物・野菜, 飲食物, 数 (1~60)

## このUnitで学習すること

オリジナルピザを作って、紹介し合う。

4年生の外国語活動も後半に入っているこの時期、児童はずいぶん英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達や指導者と簡単なコミュニケーションを図る体験を積み重ねてきている。そこで、それを踏まえ、本単元では、児童がそれまでに慣れ親しんだ語彙や表現も使って、児童同士で二往復以上のやり取りをするよう活動を設定する。何往復かのやり取りを経験し、言葉で通じ合うことの楽しさを十分に感じさせたい。

二往復以上のやり取りを実現するために、題材を児童の興味・関心が高い食材とした。また、扱う言語材料は、What do you want?



## スクリプト

### Let's Watch and Think

- A: Oh, many tomatoes! Oval, circular, long, red or orange. Excuse me, oval red tomatoes, please.  
B: How many?  
A: Three, please.  
B: Here you are.  
A: Thank you.
- A: Many colorful fruit! Pineapples, dragon fruits, bananas. Excuse me, pineapples, please.  
B: How many?  
A: Two, please.  
B: Here you are.  
A: Thank you.
- A: So many vegetables! Cucumbers, mushrooms and tomatoes. Excuse me, cucumbers, please.  
B: How many?  
A: Five, please.  
B: Here you are.

A: Thank you.

### Let's Chant: What do you want?

What do you want?  
I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please.  
How many?  
Two, please.  
Here you are.  
Thank you.  
Nice salad!

I want ~, please.だけでなく、How many? やDo you like ~?など、これまでに慣れ親しんだ表現を扱う場面を設定する。さらに、What do you want? ~, please.はすでに3年生で慣れ親しんでいる。そのことを踏まえ、本単元では、答え方をフレーズではなく、文表現とした。このことは、5年生以降での教科学習における文構造への気付きにつながっていくことが期待される。

### Let's Watch and Think

デジタル教材を視聴し、世界の市場の様子を見て、それぞれの国の違いに気付く。

- ★ 外国の市場の様子を視聴させ、日本の市場と比べながら、相違点や共通点に気付かせるようにする。
- ★ 各国の野菜や果物に注目しがちであるが、How many? Five, please. といったやり取りをしっかりと聞かせるようにして、そのあとの活動につなげるようにする。

### Let's Chant: What do you want?

リズムよくチャンツを言う。

- ★ ビートに合わせてWhat do you want? I want potatoes, please. How many? Two, please.という尋ね方と答え方を何度も聞いたり言ったりして慣れ親しませるようにする。
- ★ 児童に選ばせた果物や野菜に替えて言うことで、より意欲が高まるであろう。

### Let's Play

おはじきを置いている絵の語が発音されたら、おはじきを取る。

- ★ 野菜や果物の言い方は既に知っている児童が多いので、ここでは、What do you want? と児童に尋ねさせ、指導者がI want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. と返す形で進めるとよい。



## Let's Listen 1

登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するのを聞き、線で結ぶ。

- ★ 4人の話を聞いて、誌面のパフェの中からそれぞれのパフェを選んで線で結ぶ。
- ★ 活動の前後には、既に扱ったDo you like ~?の表現を使って児童に尋ね、Activity 1につなげたい。

## Activity 1

果物カードをやり取りして、カードをパフェ台紙に貼り、パフェを作る。

- ★ お店屋さんごっこの要領で、果物カードを渡す側ともらう側に分かれ、What do you want? I want strawberries, please.を使ってやり取りをする。もらったカードをパフェ台紙に貼り、自分のパフェを作る。その際、自分のためではなく誰かのために作るという設定にすることも考えられる。
- ★ 作ったパフェをグループで紹介し合う。

## Let's Listen 2

デジタル教材を視聴し、イラストと文字を線で結ぶ。

- ★ 前の単元でアルファベットの文字に慣れ親しんでいることから、文字に興味をもたせてこの活動へつなぐことができる。
- ★ 本活動までに、絵カード下に文字を入れたものを提示するなどして、野菜や果物を表す文字に関心をもたせておくことが大切である。

## Activity 2

食べ物カードのやり取りをして、ピザを作るための具材を集める。グループで考えたオリジナルピザを紹介する。

- ★ 目的をもって、What do you want? I want potatoes (, please). How many?

**Let's Listen 1** ① だれがどんなパフェがすきかを聞いて、線でむすぼう。

**Activity 1** ① 友だちと果物カードをやりとりして、オリジナルパフェをしようかいしよ。

28

**Unit 7**

**Let's Listen 2** ② 野菜・果物について聞いて、線でむすぼう。

**Activity 2** ② 友だちと食べ物カードをやりとりして、オリジナルピザをしようかいしよ。

29

## スクリプト

### Let's Listen 1

- Hi, I'm Emily. Here is my wonderful parfait. I like strawberries, bananas, pineapples, melons and vanilla ice cream.
- Hello, I'm Sayo. Look at my favorite parfait. I like strawberries, oranges, apples, bananas and vanilla ice cream.
- Hi, I'm Takeru. This is my favorite parfait. I like strawberries, cherries, pineapples, melons, apples, oranges, kiwi fruits and vanilla ice cream.

### Activity 1

- あやめ: What do you want?  
 れん: I want a strawberry, please.  
 あやめ: OK. How many strawberries?  
 れん: Three, please.  
 あやめ: Three? OK. Here you are.

- れん: Thank you.  
 あやめ: You're welcome.

### Let's Listen 2

- T-O-M-A-T-O. I'm a tomato.
- C-O-R-N. I'm corn.
- P-E-A-C-H. I'm a peach.
- P-I-N-E-A-P-P-L-E. I'm a pineapple.

### Activity 2

- あやめ: This is my pizza.  
 I want onions.  
 I want mushrooms.  
 I want sausages.  
 I like my pizza.

Two, please. を使ったコミュニケーションをすることがねらい。

- ★ グループでの話し合いの際に、ヘルシーピザやモリモリ元気ピザなどイメージをもたせて、ピザにのせる具材を考えさせたい。また、上記のようにピザに名前を付けるなどすると、グループごとにオリジナルティーが生まれ、交流する意義が深まる。

### 指導者の表現例

Listen carefully. (よく聞きなさい。)  
 Connect the picture and the character with a line.  
 (絵と人物を線で結びなさい。)  
 Exchange cards with your friends.  
 (カードを交換しなさい。)  
 Please tell us about your pizza.  
 (あなたのオリジナルピザについて紹介してください。)

主にActivity 1, 2で使う表現例を紹介しています。

# 8 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう

## 単元目標 (4時間)

- ・世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方に慣れ親しむ。
- ・自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。
- ・相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。

## 言語材料

○Go straight. Turn [right / left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).

○favorite, place, my, our, go, why, straight, 学校・教室等 (classroom, restroom, [science / music / arts and crafts / computer / cooking] room, [school nurse's / school principal's / teachers'] office, entrance, library, gym, playground)

[既出] 挨拶, 曜日, スポーツ, This is for you. Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. turn, right, left, lunch, school

## このUnitで学習すること

校内の好きな場所に案内したり紹介したりする。

本活動では道案内の場面設定をする。道案内を場面設定とした授業では、教室などを街に見立てて実際に相手に道案内をする活動が考えられるが、行動を伴うため、児童には語彙や表現の意味が理解しやすいように思われる。さて、実生活で道案内が行われる場合は、案内する側は、相手に正確に伝えることを意識し、相手の理解を確認しながら、また案内される側は、自身の理解を確かめたり、



## スクリプト

### Let's Listen 1



- ① This is my school. Let's go inside. Look. This is my classroom. This is the school nurse's office. This is the teachers' office. This is the school principal's office. And then this is my favorite room. I like lunch time very much. (lunch room)
- ② You are at the entrance. Turn right and go straight. Turn right and go straight. Then you can find my favorite room. It's next to the school office. I like painting. (arts and crafts room)
- ③ We are at the science room. Go straight, go straight, go straight and turn left at the music room. Go straight, go straight and turn right at my classroom. And then you can find my favorite room soon. I like books very much. (library)



## Let's Watch and Think 1

- ① My favorite place is the gym. Now let's go to the gym. We are at the computer room. Look. This is the music room. This is the school office. This is the arts and crafts room. This is the science room. Then the next room is my favorite room, the gym. I like jumping rope.
- ② My favorite place is the computer room. We are at the library now. Turn right at the classroom. Go straight, go straight and turn left at the music room. And soon you can find the computer room.
- ③ A: I have a headache.  
B: Really? That's not good. Let's go to the school nurse's office together.  
A: Thank you very much.  
B: Follow me, please. Now we are in front of the cooking room. The lunch room, the school principal's office, the teachers' office. Here we are. This is the school nurse's office.  
A: It's very kind of you. Thank you very much.  
B: You're welcome.

自身が理解していることを相手に示したりしながら、コミュニケーションを図っている。本単元の道案内の場面でも、相手と目的を十分意識して道案内に取り組みたい。

教室内で実際の道案内を想定するのは難しいことから、本単元では、自身が気に入っている校内の場所へ案内する活動を設定する。気に入った場所を、理由とともに紹介し合うことで、自分たちの学校のよさを再確認する機会にもしたい。

## Let's Play 1

指導者が言う教室名を聞き、誌面にある教室を指さす。

- ★ 本活動をする前に、「教室クイズ」など教室の言い方を知る活動をするとうい。本活動は教室名に慣れ親しむことがねらいである。まず、誌面にある校内の教室を児童とともに確認する。指導者は、デジタル教材に映し出された校内地図の教室を指さしながら、This is a ~?と、児童に続きを言わせるようにして確認していくとうい。その際に、意図的に何度も教室名を繰り返して言い、児童に聞き慣れさせるようにする。
- ★ 児童はペアになり、指導者が言う教室名を聞いて、二人の間に置いた一冊のテキストの誌面から選んで指さす。その際次のような進め方がある。①二人で確認しながら行う。②競争する。③さした指をさしたままにして競争する。

## Let's Listen 1

教室名に慣れ親しんだあと、音声で道案内を聞き、どの教室かを考えて発表する。

- ★ 本活動の前に、誌面にある校内の図を使って道案内の表現に出会わせておくようにする。例えば、指導者が画面に映し出された誌面の校内地図の玄関 (the entrance) から、Go straight. Turn right / left. と指で通路をなぞり、行きついた教室名を言う。児童が聞き慣れたら、Let's go to the library. などと言って、玄関などが (続きは35ページへ)

## Let's Listen 2

音声を聞き、登場人物と教室イラストを線で結ぶ。

- ★ 音声を聞かせる前に、イラストの教室を確認しておくとうい。
- ★ 音声では、登場人物が気に入っている教室名とその理由を紹介している。

## Let's Watch and Think 2

デジタル教材を視聴し、外国と日本の小学校との違いなど、気付いたことを□に記入する。

- ★ デジタル教材を視聴し、海外の学校はこうだと、ステレオタイプにならないように気を付けたい。ここでは、海外の学校の様子を知ること、自分たちの学校の環境などに児童が興味をもつことをねらいとしている。

## Let's Chant : School Chant

- ★ まずは音声を聞かせ、どのような教室名があったかを聞き取らせ、ビートに合わせて言えるところから言うようにする。

## Let's Play 2

友達にインタビューし、誌面にある教室が好きな友達の名前を□に記入する。


- ★ ここでは、気に入った場所について、なぜ好きなのかなどを加えて伝え合う。もうすぐ5年生を迎えるにあたり、一文加えて思いを伝えるよう指導していく。


## Activity

校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。


- ★ 児童の実態に応じて、さまざまな取り組み方が考えられる。例えば、次のような進め方がある。


**Let's Listen** ② だれがどの場所をすきかを聞いて、当てはまる場所を線で結ぼう。

① 

② 

**Let's Watch and Think** ② えいぞうを見て、学校の様子について、気づいたことを□に書こう。





**Let's Chant** School Chant

32

## スクリプト

### Let's Listen 2

- Hi, I'm Takeru. I like books. The library is my favorite place.
- Hello, I'm Emily. I love my classmates. Our classroom is my favorite place.
- Hi, I'm Robert. I love "Lunch Time." The lunch room is my favorite place.


### Let's Watch and Think 2

- Hello, I'm James. Welcome to my school. I will show you my favorite room. Here we are. This is the music room. We play the piano, the guitar and the violin here. Do you play the violin?
- Hi, I'm Chris. Nice to meet you. I like basketball. I'm a basketball player. This is the gym. I play basketball here. Do you like basketball?



**Unit 8**

**Let's Play** ② 学校内の好きな場所をつたえ合い、□に友だちの名前を書こう。



**Activity** 友だちを好きな場所をしょうかいし合い、その理由について知ろう。

名前	場所	理由
あなた		

33

- Nice to meet you. Welcome to my school. I'm Grace. I'm a teacher. Look. This is the science room. This is the microscope. This is a lens. I like to see something small through a microscope. Do you have a microscope? See you.

## Let's Chant : School Chant

Turn right. Go straight. This is my favorite place, the music room! I like music.  
Turn left. Go straight. Turn left. Go straight. This is my favorite place, the lunch room! I'm hungry.

### 指導者の表現例

Let's guide your friend. (友達を案内しましょう。)  
Let's do the chant together.  
(一緒にチャンツを言いましょう。)  
What's your favorite place?  
(あなたの気に入った場所は何ですか。)  
Once more, please. / One more time, please.

## <クイズ形式1>

- ★ ペアで気に入った場所を紹介する。気に入った場所を言わずに、校内地図をもとに現在地からそこまでの道案内をする。案内された方は、それがどの教室なのかを答える。合っていれば、好きな理由を伝える。

## <クイズ形式2>

- ★ ペアになり、その場所が気に入っている理由を言う。それを聞いて、それがどこかを推測して答える。

## <インタビュー形式>

- ★ ペアになり、気に入っている場所を尋ね、教室名などその理由を表に記入する。
- ★ どの形式にするかによって、単元の立て方が異なってくる。単元ゴールをまず決め、バックワードデザインで単元計画を立てるようにする。

## (33ページから続く)

- ら児童と一緒に進み方を言っていくなどするとよい。
- ★ 音声で道案内を聞き、到着した教室名を発表させる。この活動が、単元最後の発表につながる。

## Let's Watch and Think 1 (p.33より)

デジタル教材を視聴し、道案内の仕方に出会う。

- ★ 登場人物が自分のお気に入りの場所を、道案内をしながら紹介している映像を視聴し、道案内の仕方に慣れ親しむ。

(もう一度お願いします。)  
I don't know. (分かりません。)  
I'm finished / done. (終わりました。)  
Well done. (よくできました。)

Let's PlayやActivityの際に使う主な表現例を紹介しています。



# 9 This is my day.

ぼく・わたしの一日

## 単元目標 (5時間)

- ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、日課を表す表現に慣れ親しむ。
- ・絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。
- ・相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。

## 言語材料

- I wake up (at 6:00). I have breakfast (at 7:00). I go to school. I go home.
  - 日課 (wash my face, go to school, go home, brush my teeth, put away my futon, check my school bag, leave my house, take out the garbage), everything, later, boy, girl, yummy, wonderful
- [既出] 挨拶, 日課, 状態・気持ち, 動作, 教科, This is my favorite place. I, am, it, is, day, you, up, my, have, breakfast, house, the, to, school, homework, dinner, a, dream

## このUnitで学習すること

短いまとまりのある話を聞いて、おおよその内容をつかむ。

4年生最後の単元では、まとまった話を聞いて内容がだいたい分かる経験をさせる。「何となくだけど、英語での話が分かった」という実感が、外国語学習への自信や意欲につながっていくであろう。そこで、指導者は、ジェスチャーや、声に表情を付けて読み聞かせを心掛け、児童が分かったと実感できるようにしたい。

3年生では、児童が興味・関心を抱く動物を題材にした絵本を扱った。3年生に比べ、児童だけでできることが増え、ますます児童

# Unit 9 This is my day.



I wake up.

34



I have breakfast.  
I check my school bag.  
I leave my house.

36



I wash my face.  
I brush my teeth.  
I put away my futon.

35



I take out the garbage.  
I go to school.

37

同士でのやり取りが豊かになってきている4年生では、一日の生活を題材にした絵本を扱う。そうした個人の生活を題材にすることで、友達の新しい一面を知り、相互理解がより深まることを期待したい。

本単元最後に、指導者が出す校内教員の一日の生活についてのヒントを聞いて、それが誰かを当てる活動を設定している。児童に発話を求めず、じっくりまとまりのある話を聞いて分かる体験を積み重ねることをねらいとしている。しかし、児童の実態に応じて、絵本を参考に児童が自分の生活を紹介したり、グループでオリジナル絵本をつくったりするなど、活動を工夫し、一年間のまとめとした。

なお、以下のQRコードから、絵本の本文の音声を再生することができる。



## 指導者の表現例

- What time is it? (何時ですか。)
- What time do you get up?  
(あなたは何時に起きますか。)
- Look at the picture. (絵を見てください。)
- What's his breakfast?  
(彼の朝食は何ですか。)
- What do you eat for breakfast?  
(朝ご飯に何を食べますか。)

絵本の読み聞かせをしながら、児童に尋ねたり指示をしたりする表現例を紹介しています。

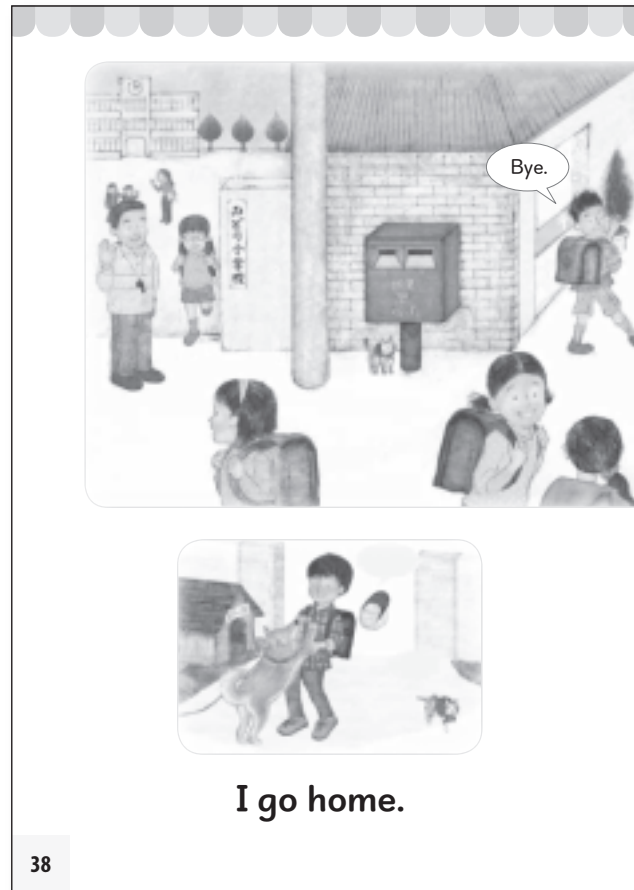


## Good MorningとThis is my day.

Good Morningという絵本は、平成28年度末に全小学校に配布した「小学校の新たな外国語教育における補助教材 (Hi, friends! Story Books)」デジタル教材に収録されているが、ここに掲載している絵本は、そのダイジェスト版である。ダイジェスト版でたっぷり読み聞かせを聞いたり、さまざまな活動をしたりしたあと、単元最後に長編のGood Morningの読み聞かせに誘いたい。

この絵本は、児童と同じ4年生の男児Kazuが自分の一日の生活を、ブラジルに住む友達Mariaに紹介するという設定である。ただ、4年生児童にとって、絵本の中の男児が一日の生活を紹介するのを聞くことにそう興味を抱かないのではないかと考え、絵本にサブストーリーを埋め込んでいる。サブストーリーの主人公は、猫である。カレンダーに描かれていた猫がいつの間にかカレンダーから飛び出し、Kazuと一日の行動を共にする。児童は、絵本の読み聞かせを聞きながら、この猫が絵本誌面のどこにいるだろうと探し、次のページがめくられるのを楽しむであろう。また、はじめはKazuもこの猫に気付かなかったが、いつの間にかもともと、共に生活していたかのようになっていく様子が、児童のこの絵本への興味をよりそそるであろう。指導者は、児童とともに絵本の世界を楽しみたい。

なお、一日の生活は、4年生Unit 4でも扱っている。そこでは、児童の負担感を考慮し、一日の行動を、Wake-up Time, Breakfast Time, Bath Timeなどと表していたが、本単元では、I wake up. I eat lunch.などと文として扱い、5年生の教科としての外国語の学習につなげる。また、5年生Unit 4で改めて日課を扱う。



I go home.



I finish my dinner.  
I dream a wonderful dream.



I do my homework.

## <絵本の読み聞かせの仕方>

- ★ 外国語活動での読み聞かせについては、次のようなことに留意して行うとよい。
- ・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋などを理解するための大切な手掛かりとなる。
- ・単に絵本に載っている文言をそのまま読むのではなく、児童に絵本の絵や筋についてときおり質問しながら、児童を絵本の世界に引き込むようにする。
- ・ページをめくる際には、次に何が起こると思うかなどと発問し、児童に話の展開に興味をもたせる。そうすることで、児童は「次はどうなるだろう」と、より興味をもって、指導者の読み聞かせを聞くと思われる。

## 指導者の表現例

Open your textbook to pages 34 and 35.  
(テキストの34、35ページを開きなさい。)

Let's listen to the story.  
(お話を聞きましょう。)

What's this? (これは何ですか。)

Let's listen again.  
(もう一回聞きましょう。)

Let's spread out the picture cards.  
(絵カードを並べましょう。)

Look, here is a cat.  
(ほら、ここに猫がいます。)

Can you find a cat?  
(猫が見つかりますか。)

Where is the cat? (猫はどこにいますか。)

What's his name? (彼の名前は何ですか。)

What time is it? (何時ですか。)

絵本の読み聞かせを始める際や、読んでいる際に使う表現例を紹介しています。



## ヘボン式と訓令式

小学校学習指導要領国語科では、「第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと」を指導することとされている。また、日常使われている簡単な単語とは、地名や人名などの固有名詞を含めた、児童が日常目にする簡単な単語をさしており、このローマ字表記にあたっては、「ローマ字のつづり方」(昭和29年内閣告示)を踏まえることとなる。

それによると、「一般に国語を書き表す場合は、第1表に掲げたつづり方によるものと」し、「従来の慣例をにわかに改めがたい事情にある場合に限り、第2表に掲げたつづり方によってもさしつかえない」こととされている。第1表とは、いわゆる訓令式によるもの

であり、この表記の指導にあたっては、日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っていることを理解することが重要である。例えば、児童に「かー」と発音させ、「かー」から「ア」という音を取って発音するよう指示する。児童は何度か試みているうちに、「k」という音を出すであろう。それが、kの音であり、「か」は[k]と[a]という音が組み合わさって成り立っていることを実感させるなどするとよい。

一方、第2表のいわゆるヘボン式と日本式による表記の指導にあたっては、例えば、パスポートに記載する名前の表記であり、外国の人とコミュニケーションを図る際に用いることが多い表記であることを指導するようにする。

新学習指導要領対応  
小学校外国語活動教材

## Let's Try! ② 指導編

発行 文部科学省 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号

表紙 ● デザイン/エイブルデザイン(神尾宏樹) イラスト/山本亜貴子  
デザイン ● 株式会社明昌堂  
イラスト ● 伊東恵美/いとうみき/勝田登司夫/後藤知江/小島真樹/高野真由美/  
トリスヨシコ/森田秀昭/矢島真澄/山本亜貴子/和田治男  
写真・協力 ● アフロ/アマナイメーجز/大畑俊男